別記様式第８号（第１１条関係）

|  |
| --- |
| 池田町木質バイオマス熱供給システム導入事業  技 術 提 案 書    　　　技術提案者  　　　（代表者）：  　　　（構成員）：  　　　（構成員）：  　　　（構成員）： |

（提案にあたっての留意事項）

１　本事業にかかるプロポーザル実施要領、基本設計図書、要求水準書等を十分承知の上、提案すること。

２　本事業は、環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（脱炭素先行地域づくり事業）」）の活用を前提としていることから、当該補助事業の「交付要綱」、「実施要領」、「Q＆A」等を承知の上、補助対象経費の範囲や事業性評価、リスクへの対策等に十分留意しながら提案すること。

３　技術提案書は、正本１部、副本９部の合計１０部用意すること。

４　技術提案者名は、正本における技術提案者名は、それぞれの事業者名及び事業従事者氏名を記載すること。また、副本における技術提案者名は、代表事業者については「代表者」、構成員は（構成員①）、（構成員②）と記載とし、責任者や担当者などは、「総括責任者A」「実施設計責任者B」などと記載すること。

５　各事項について、提案内容が当初の記入欄に収まらない場合は、適宜広げて記載すること。

６　文章での表現を原則とし、イラスト、図、表等の視覚的表現を使用することは可とする。

７　技術提案書は、別紙を含めて通しでページ番号を付すこと。

８　文字のフォントサイズは原則として11ポイント以上とするが、図や表に付随する文字で11ポイント以上とすることが適さない場合は、技術提案に支障のない範囲で小さい文字を使用することは差し支えない。

９　正本・副本ともに左綴りせず、ダブルクリップ等で留めること。

10　本様式は、技術提案書の標準的なフォーマットであり、Ａ４版縦（Ａ３版を添付する場合は折込み添付）の条件の範囲内で、ページ数や体裁を変更することは差し支えない。

１　技術提案者の実施設計業務実施・工事施工能力

　⑴　総括責任者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

　※　総括責任者は、実施設計及び工事を一貫して総括できる者とし、実施設計責任者及び工事現場代理人との兼務は認めない。また、連合体の場合は、代表事業者が雇用する者とする。

　⑵　実施設計業務

ア　会社の主な業務経歴（実施設計業務）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | 実施年度 | 業務名 | 業務発注者及び業務内容 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　※　今回の企画提案に関連するものを中心に記入すること。（過去３年間）

　※　連合体（JV含む。）の場合は、それぞれ記入すること。

　　イ　業務従事者（実施設計業務）

（ア）実施設計責任者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

　　（イ）　（ア）の者を除く業務担当者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

※　氏名、雇用する事業者名欄については、正本のみに記載し、副本は「主任担当者Ａ」「担当者Ｂ」や「代表者」「構成員①」など氏名、事業者名が特定されない表現で記入すること。

　⑶　工事

ア　会社の主な工事実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | 実施年度 | 工事名 | 工事発注者及び工事内容 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　※　今回の技術提案に関連するものを中心に記入すること。（過去３年間）

　※　連合体（JV含む。）の場合は、それぞれ記入すること。

　　イ　工事従事者（工事）

（ア）現場代理人

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

　　（イ）　（ア）の者を除く従事者（監理技術者、主任技術者等）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | □　監理技術者　　□　主任技術者　　□（　　　　　　） | | |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | □　監理技術者　　□　主任技術者　　□（　　　　　　） | | |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | □　監理技術者　　□　主任技術者　　□（　　　　　　） | | |
| 氏名 |  | 雇用する事業者名 |  |
| 主な工事実績  経歴、資格等 |  | | |

※　氏名、雇用する事業者名欄については、正本のみに記載し、副本は「主任担当者Ａ」「担当者Ｂ」や「代表者」「構成員①」など氏名、事業者名が特定されない表現で記入すること。

２　業務・工事実施体制

　⑴　実施設計業務

|  |
| --- |
|  |

　※　本業務を円滑に実施していくための実施体制を提案すること。また、連携する外部機関等があれば併せて記載すること。

　⑵　工事

|  |
| --- |
|  |

　※　本工事を円滑に実施していくための実施体制を提案すること。また、連携する外部機関等があれば併せて記載すること。

３　業務・工事実施スケジュール

　⑴　実施設計業務

|  |
| --- |
|  |

※　技術提案説明書等を元に、円滑な業務実施のためのスケジュールを提案すること。

　⑵　工事

　※　工事工程については、別紙１「工事工程表」に記載すること。

　　　また、提出の際は、本ページの次に「工事工程表」を綴じること。

４　実施設計における技術提案

1. 木質バイオマス熱供給システム導入に向けた実施設計における考え方

|  |
| --- |
|  |

　　※　木質バイオマス熱供給設備導入、公共施設への導入等の観点で実施設計上の留意点や効率的な業務実施における考え方を提案すること。

1. 実施設計の具体的手法

|  |
| --- |
|  |

　　※　木質バイオマス熱供給設備導入、公共施設への導入等の観点で実施設計を具体的に進める際の手法を提案すること。

５　工事における技術提案

　　ア　設備等の仕様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設備 | 項目 | 記入欄 |
| 木質チップ  ボイラー | メーカー・型式 |  |
| 定格出力 | kW |
| 機器方式 |  |
| ボイラー効率（カタログ値） | ％ |
| 燃料種類 | ☑　チップ　　　□　薪　　　□　ペレット |
| チップ消費量／時（定格運転時） | Kg/h |
| 自動温度制御運転の可否 | □　　可　　　／　　　□　　不可 |
| 自動燃料供給の可否 | □　　可　　　／　　　□　　不可 |
| 通常運転時のばい煙における大気汚染防止法の排出基準適合 | □　適合　　　／　　　□　　不適合 |
| 着火方式 | □　　可　　　／　　　□　　不可 |
| 運転管理資格 | □　　要　　　／　　　□　　不要 |
| 警報システム | □　　有　　　／　　　□　　無 |
| 警報通知方法 |  |
| 感震器による自動停止機能 | □　　有　　　／　　　□　　無 |
| 灰の除去方法 | □　自動　　　／　　　□　　手動 |
| 自動の場合の除去される場所 |  |
| 空冷式ヒートポンプチラー | メーカー・型式 |  |
| 定格出力（暖房） | kW |
| 温水入口温度 | ℃ |
| 温水出口温度 | ℃ |
| 温水量 | ㎥/h |
| 定格出力（冷房） | kW |
| 冷水入口温度 | ℃ |
| 冷水出口温度 | ℃ |
| 冷水量 | ㎥/h |
| 寸法 | D　　mm ×　W　　mm　×　H　　mm |
| 吸収式  冷凍機 | メーカー・型式 |  |
| 定格出力 | kW |
| 冷水入口温度 | ℃ |
| 冷水出口温度 | ℃ |
| 冷水流量 | ㎥/h |
| 熱源温水入口温度 | ℃ |
| 熱源温水出口温度 | ℃ |
| 寸法 | D　　mm ×　W　　mm　×　H　　mm |
| 蓄熱タンク | メーカー・型式 |  |
| 容量 | L |
| 材質 |  |
| 寸法 | D　　mm ×　W　　mm　×　H　　mm |
| 建屋 | 寸法（外寸） | D　　mm ×　W　　mm　×　H　　mm |
| その他※1 |  |
| チップサイロ及びチップ供給設備 | 燃料サイロ容量（有効容量） | ㎥ |
| 燃料チップ供給方式（ホッパ部） |  |
| 燃料チップ供給方式（供給部） |  |
| チップサイロ加工の概要 | |
| 底面内装 |  |
| 壁面（外壁部）及び天井内装 |  |
| 壁面（ボイラ室間仕切り）内装 |  |
| 壁面の加工等（開口部等） |  |
| その他建屋内に設置する機器※2 | |  |

※1　建屋に関しては、池田町が別途設計事業者・工事事業者を入札等により選定するが、本事業の実施にあたり、特筆すべき点があれば記載すること。

※2　その他設置予定の機器について、適宜行を追加し、それぞれ名称、メーカー名・型式、能力等を記載すること。

　イ　熱供給システムの機器配置の提案

|  |
| --- |
|  |

※　建屋内（外）に設置する設備を平面図や断面図等により概要がわかるよう提案すること。

エ　特記事項

|  |
| --- |
|  |

※　当該機器（メーカー）等を提案する理由、施工の考え方、要求水準書を踏まえた独自提案など、提案に際し特筆事項があれば記載すること。

５　データ等収集表示システム及び遠隔操作システムの提案

|  |
| --- |
|  |

６　実施設計及び施工に係る積算等

　※積算については、別紙２「経費内訳書」に記載すること。

※事業費合計額が、プロポーザル要領記載の上限額を超えないこと。

また、提出の際は、本ページの次に綴じること。

７　維持管理等に関する提案

　※提案にあたっては、別紙３「維持管理メンテナンス計画」に記載すること。

また、提出の際は、別紙２「経費内訳書」の次に綴じること。

８　運営経費想定表

　※提案にあたっては、別紙４「運営経費想定表」に記載すること

また、提出の際は、別紙３「維持管理メンテナンス計画」の次に綴じること。

※水分率４０％のチップを19,000円／tで購入したと仮定した場合のバイオマス熱

供給施設の運転経費（単年度）を算出すること

９　その他必要と認める事項

　※チップ製造施設整備計画について任意様式・任意内容に提案してもよい。

　　提出の際は、別紙４「運営経費想定表」の次綴じること。